

令和2年(2020年)12月5日 土曜日

松阪の尾鍋組、三重大と共同

技術開発、17年の軌跡

「住宅地盤イノベーション」出版

【松阪】尾鍋組（松阪市飯高町宮前）の尾鍋哲也代表取締役は四日、同市中央町のフレックスホテルで自著「住宅地盤イノベーション」地方の土木会社が挑んだ17年の軌跡」の出版記念発表会を開いた。三重大と共同開発した碎石の地盤改良「エコジオ工法」の技

術開発の経緯をまとめた。同社は十七年前、住宅の地盤改良事業に参入し、三重大生物資源学研究所の酒井俊典教授と独自技術の開発に取り組み、開発費用が年間売り上げを超えても続けた。特許五件を取得した。セメントやくいを使わず、碎石だけを使い、環境に配

慮するとともに地価下落を防ぐ。エコジオ工法の施行代理店は全国五千四百所に広がり、施行数は一万九千件以上。三千社以上の住宅会社が採用している。この日はエコジオ工法施行代理店をはじめ、同市や県産業支援センター、中小企業基盤整備機構、県中小企業団体中央会から約四十人が出席した。尾鍋氏は「出版が一つの区切りとなって、ともに発展していきたい」とあいさつした。つし、開発経緯を説明。参加者と刊行を祝った。合同フォレスト（東京都千代田区神田神保町）が発行。四六判百八十五頁。定価は税別千五百円。



開発の軌跡を語る尾鍋氏＝松阪市内のホテルで